

ならの木便り

心と身体に抵抗力を



今年の冬は暖かい日が多くて過ごしやすい冬だったと思います。そして、昨年中国の武漢で発症したコロナウイルスは今年に入って徐々に世界に広がって、私たちもさまざまに影響を受けております。

それに関連して、先日、相模原市の“こども若者未来局”から、『次のようなイベントは原則中止とします』というプリントが配られました。4項目あるのですがその中の (2) 100人以上の不特定多数が屋外に集まるイベント (3) 参加者が特定できない(申込み不要、参加者名簿などが無い) の2項目がありました。卒園式などは除外項目に入っておりますので安心しました。

お別れ遠足で高尾山に登ることについては、戸外の行事であり、さわやかな山道を歩くので、とにかく安全を最優先する事に配慮しながら実行することにしました。注意するところは猿園とケーブルカーの内部と乗り降りでは無いかと思いますので、その点は留意していきます。

2月23日の日曜日に、現地の人に様子を聞いてみたいと思って、高尾山に出かけました。家を出るのが遅くなり、折角行ったのに駐車場は満車で誘導員の人もかなり殺気立っていて、駐車できる所は無いか聞こうとちょっと車を停止しましたが、「邪魔だからどけ」と厳しく言われて一言も無く帰らざるを得ませんでした。そのあとプレジャーフォレストを回ってきたのですが、両所ともコロナウイルスのことは何処の話かと思うほど人で賑わっておりました。

3月7日の人出の状態は分かりませんが、23日の様子を見ていっそう用心していかなければならないかなと感じました。幼稚園児でクラス全体が、麓から頂上まで登るといことは、それだけの気力と体力を全員が身に付けているという素晴らしいことであり、皆がとても楽しみにしている行事です。何とか全員無事に目的を達成させたいという職員全員の願いもありますが、今の段階では、行くか行かないかの決定は保留に決めました。

私たちの身近なところで、感染者が出ていることに恐れを抱いている人

たちも少なからずいるはずですが、幼稚園でも注意を払っていきますが、ご家庭でのご協力も欠かせません。この状況が収まるまで、多少でも体調不良のお子さんは、なるべくご家庭で様子を見て下さるようにご協力下さい。

これまで、当園は、病気に罹りづらいように日頃から体力作りを心がけてきました。ご家庭にも体力作りの基礎である“早寝・早起き・朝ご飯”をお願いしてきました。このような時期だからこそ、ご家族の健康のために、再度この言葉の大切さ、実行することの大切さを確認して下さい。

ただし、過剰に心配する必要は無いと思いますが、コロナウイルスの流行がある程度収まるまでは、人混みの中は用事が無い限りは避け、37度5分以上の熱が4日間位続いたり、だるさや息苦しさを感ずればしばらく様子を見て症状が悪くなるようだったら受診してください。受診に行つて待合室などで感染するようなことが無いように用心して下さいね。

卒園式の日まで残り少なくなりました。

すみれ組の園児たちは、未就園児の小さなお友達からお年寄りの施設訪問などを通して、幅広い年代の人たちと交流を持ちました。社会に出れば様々な年代の人に行き会い、時にはその出会いが一生の道を決めるかも知れません。『人というグループの中で、自分が何をしなければならぬかを感じ取り、それをやる力』、これは幼児期から育てておきたい力です。

この力が一生を左右する力になるかも知れません。私たちはこのことに注意を払いながら子供たちを指導してきました。

そして、小学校で困らないように、話を聞く態度、製作や学習に向かう態度、体力作りなど、職員たち全員で取り組んできました。この園を巣立とうとしている園児たち、小学校に通い始めれば、本人にとっても大事なものはお友達との交流になってきます。どのようなお友達を作るのか不安もあるかも知れませんが、ご両親は温かく見守ってあげて欲しいと思います。これから長い人生を歩んでいく卒園生たち、とにかく命を大切に、逆境もチャンスと捉えるような力強い精神力をもって、豊かな人生を歩んで欲しいと願っております。

園長 浜野和子